

## デザインを通してタイルの可能性を探る〈Alternative Artefacts Danto〉

### 2025年3月 日本展開スタート

クリエイティブディレクション・アートディレクション：Teruhiro Yanagihara Studio

デザイン：Teruhiro Yanagihara Studio、India Mahdavi

VAGUE KOBEにて4/4(金)～4/7(月)国内初のエキシビションを開催



1885年より続く淡路島の老舗タイルメーカー ダントー（株式会社<sup>だんとうしゃ</sup>淡陶社）から、デザインを通してタイルの可能性を探るブランド「Alternative Artefacts Danto（オルタナティブ アーティファクツ ダントー）」が誕生し、2025年3月より販売を開始します。従来のタイルの形、用途にとらわれることなく、素材としての可能性を探るプロジェクト。世界で活躍する建築家やデザイナー、アーティストをコラボレーターとして日本に招き、新たな視点からタイルづくりに取り組んでいきます。

Website <https://aa-danto.com/>

INSTAGRAM <https://www.instagram.com/a.a.danto/>

<Alternative Artefacts Danto (略称：A.a. Danto) >は、2024年4月、ミラノデザインウィーク期間中に発表された新たなタイルブランドです。日本では、2025年3月より販売をスタートします。

クリエイティブディレクション・アートディレクションは、柳原照弘率いるTeruhiro Yanagihara Studio (テルヒロヤナギハラスタジオ) が担当します。

ファーストコレクションにラインアップする製品は、フランスを拠点に活動するIndia Mahdavi (インディア・マダヴィ) による4種類と、Teruhiro Yanagihara Studioによる3種類のタイルが揃い、汎用性の高い<Tiles>コレクションとして展開します。100年以上の年月をかけてダントーが積み上げてきたクリエイションへ敬意を込め、その要素を再編集し、これからの100年も使い続けられるような「タイルのスタンダード」をデザインしました。

また、<Editions>コレクションとして、立体作品にも挑戦しています。(順次発売予定)

タイルというものを捉え直し、その無限の可能性を模索する挑戦的なコレクション。かつては陶磁器や焼き物を製作していたダントーの歴史からバトンを引き継ぎ、多様なシーンやこれまでにない色・形を想像し、タイルの新たな価値を創造していきます。

<A.a. Danto>は先鋭的なクリエイティビティ、たゆまぬ陶土の研究開発、そして精緻な製造技術によって過去と未来をつなぎ、デザインを通してタイルの可能性を広げてまいります。

## <Alternative Artefacts Danto> エキシビション 開催概要

会期. 2025年4月4日(金) - 7日 (月) 12:00-18:00

会場. VAGUE KOBE 兵庫県神戸市中央区海岸通9-2 チャータードビル3F

\*バイヤー、プレスの方に向けて、3月後半に東京、4月上旬に神戸にて展示会を開催します。  
ご興味をお寄せいただける方は、ご連絡ください。

## Alternative Artefacts Danto

1885年より続く淡路島の老舗タイルメーカー ダントー (株式会社淡陶社) から、デザインを通してタイルの可能性を探るブランド

<Alternative Artefacts Danto>が誕生しました。Teruhiro Yanagihara Studioによるクリエイティブディレクションのもと、従来のタイルの形、用途にとらわれることなく、素材としてのタイルの可能性を探るプロジェクト。世界で活躍する建築家やデザイナー、アーティストをコラボレーターとして日本に招き、新たな視点からタイルづくりに取り組んでいきます。

## 淡陶社 (だんとうしゃ) について

淡 (だん)ー淡路島の淡 陶 (とう)ー陶器

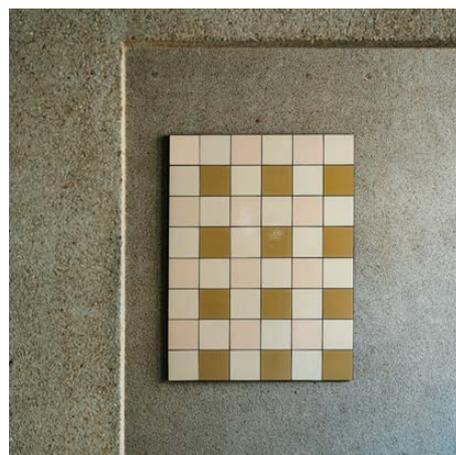
1885年、ダントーの歴史は瀬戸内海に浮かぶ風光明媚な淡路島で始まりました。

日本で最初に硬質陶器タイルを量産化したダントーは、常に革新的、実験的、精緻であること、そしてタイムレスであることを胸に、事業を展開してきました。

職人技の革新性に加えて、タイルの主原料である土の配合や釉薬技法に対するたゆまぬ研究、時代を反映したデザイン、そして未来を見据えたものづくりがダントーの歴史を積み重ねています。



Tiles | Crisscross  
India Mahdavi



Tiles | Flat/matt, Flat/gloss  
Teruhiro Yanagihara Studio

## ABOUT COLLECTION

<Tiles><Editions>2種のコレクションを展開し、〈Tiles〉は、2025年3月より受注販売を開始します。またオフィシャルサイトより、1枚からタイルサンプルを購入いただけます。

### <Tiles>

1885年から世紀をまたぎダントーが積み上げてきたクリエイションへ敬意を込め、その要素を再編集し、これからの100年も使い続けられるような「タイルのスタンダード」をデザインするコレクション。タイルと人の関係性を長い時間軸で捉え、タイル文化を牽引してきたダントーブランドの思想を体現しています。



Corner / matt, gloss

Teruhiro Yanagihara Studio によるデザイン



Flat / matt 5サイズ 39色

全てTeruhiro Yanagihara Studio によるデザイン



Flat / gloss 5サイズ 39色



Tray Type A、B、C、D 4面状5色



Crisscross 2面状 3色

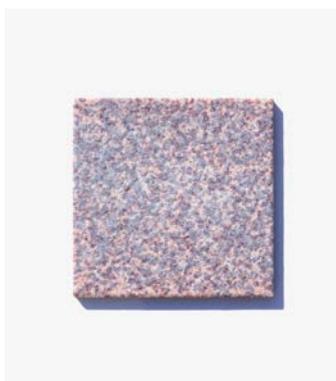
全てIndia Mahdaviによるデザイン



Cracks 1サイズ 5色



Mycelium 2サイズ 8色



Freckles 2サイズ 4色

サイズなどの詳細はウェブサイトよりご覧ください。 <https://aa-danto.com/>

## <Editions>

世界各国のデザイナーやアーティストと共に、タイルというものを捉え直し、その無限の可能性を模索する挑戦的なコレクション。かつては陶磁器や焼き物を製作していたダントーの歴史からバトンを引き継ぎ、多様なシーンやこれまでにない色・形を想像し、タイルの新たな価値を創造していきます。

### Teruhiro Yanagihara Studio



Baked Furniture — Table

空間、プロダクト、ジャンルを超えてデザインを手掛ける柳原照弘ならではの視点で、建材を超えたタイルの在り方を提案するコレクション。壁や床などの平面装飾に留められていたタイルという存在を、家具やオブジェクトとして活用するという新たな試みを模索しています。

### India Mahdavi



Ladder

テヘラン出身パリ拠点の彼女だからこそその独特の色彩感覚と遊び心をタイルで表現したコレクション。ダントーが実験的に製作していたアーカイブの中からユニークなテクスチャーを拾い上げ、現代的でエレガントなデザインへと昇華させています。また、立体的に組み合わせることで、空間に存在する新たなタイルの姿を形作りました。

## DESIGNER PROFILE



左：India Mahdavi 右：柳原照弘

### Teruhiro Yanagihara Studio (テルヒロ ヤナギハラ スタジオ)

2002年、デザイナーの柳原照弘（やなぎはらてるひろ）によって創設され、日本、フランス、英国、オランダなど、多拠点から参画するスタッフとともにレストランやショップの空間デザインから、家具、テーブルウェアなどのプロダクトデザイン、テキスタイルデザイン、さらに香りのデザインまで、国内外で多岐に及ぶプロジェクトを手がけるデザインスタジオ。

プロジェクトのクライアントとなる企業やブランドの価値の本質を見極め、その世界観を包括的に伝える上で、空間や商品だけではなく、コミュニケーションツールなどのアートディレクションを含めたブランディング構築を手がけることもある。そのために、プロジェクトが生まれる土地の歴史や風土を入念にリサーチし、とりわけて伝統的な素材や技法に目を向け、伝統が時代に置き去りにされることのないよう、現代の暮らしの中に伝承していくデザインに意を注ぐ。

こうしたデザイン活動を行うとともに、ものづくりの思考やプロセスを表現し、また共感するアーティストやデザイナーのクリエイションを発信する起点として、神戸と南仏の古都アルルにフランス語で波を意味する「VAGUE」という拠点を設ける。

### India Mahdavi (インディア・マダヴィ)

フランス・パリを拠点にする建築家、デザイナー。2000年、パリ7区のラス・カーズ通りに建築からインテリア、空間設計、家具やプロダクトにいたるまで、分野をまたいでデザインを手がけるスタジオを開設し、その同じ通りにショールームやショップも設ける。独特の色彩とユーモアのセンスによって、現代における心地よさとエレガンスを併せ持つ独創的な空間づくりで知られる。色彩感覚に優れ、さまざまな文化圏への眼差しから生まれるインディア・マダヴィのクリエイションは、異なる文化が入り交じることで、特定の風土を限定しない、コスモポリタンかつ洗練された生活芸術を提案している。

## PROJECT CONCEPT

1885年より続く淡路島の老舗タイルメーカーダントーから誕生した、デザインを通してタイルの可能性を探るブランド〈Alternative Artefacts Danto（略称 A.a. Danto）〉。

Teruhiro Yanagihara Studio によるクリエイティブ・ディレクションのもと、従来のタイルの形、用途にとらわれることなく、素材としてのタイルの可能性を探るプロジェクトです。

世界で活躍する建築家やデザイナー、アーティストをコラボレーターとして日本に招き、新たな視点からタイルづくりに取り組んでいきます。

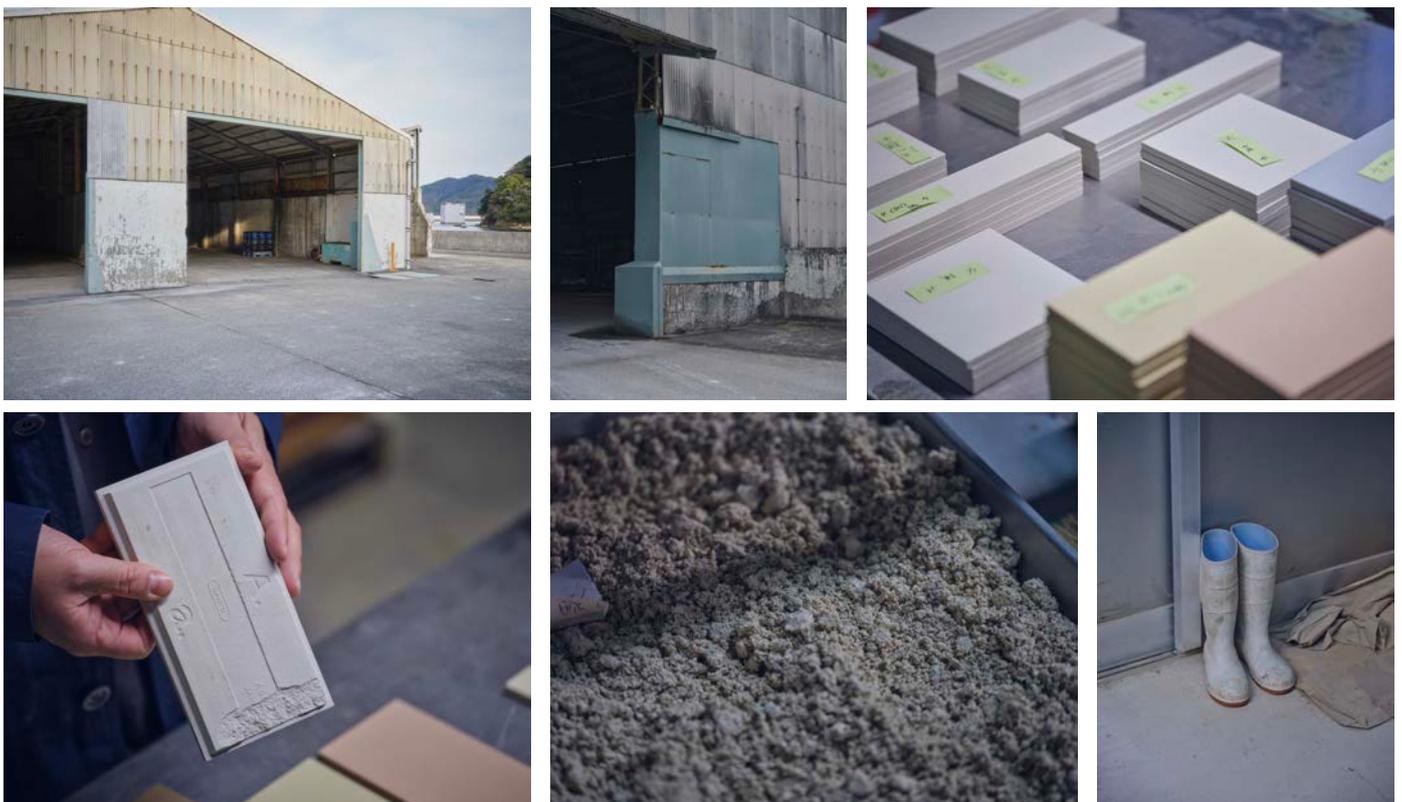
コラボレーターは江戸時代の珉平焼に始まるダントーの歴史を遡り、タイル職人たちの技や、陶土の開発から取り組むことで生まれる独特のタイルの色合い、特殊な造形にも対応できる量産体制などに触れることになります。こうしたダントーの伝統、技術を活かしながらも自由なアプローチでタイルと向き合います。

タイルのもつ可能性について、〈A.a. Danto〉のクリエイティブ・ディレクター 柳原照弘は次のように話します。

「タイルで空間の雰囲気を一変させることもできます。ダントーのタイルは土を焼成してできるため、陶器のような手触りでぬくもりを感じます。このプロジェクトを通して内装材としてのタイルの可能性を広げていきたいのです」

心に残るタイル――

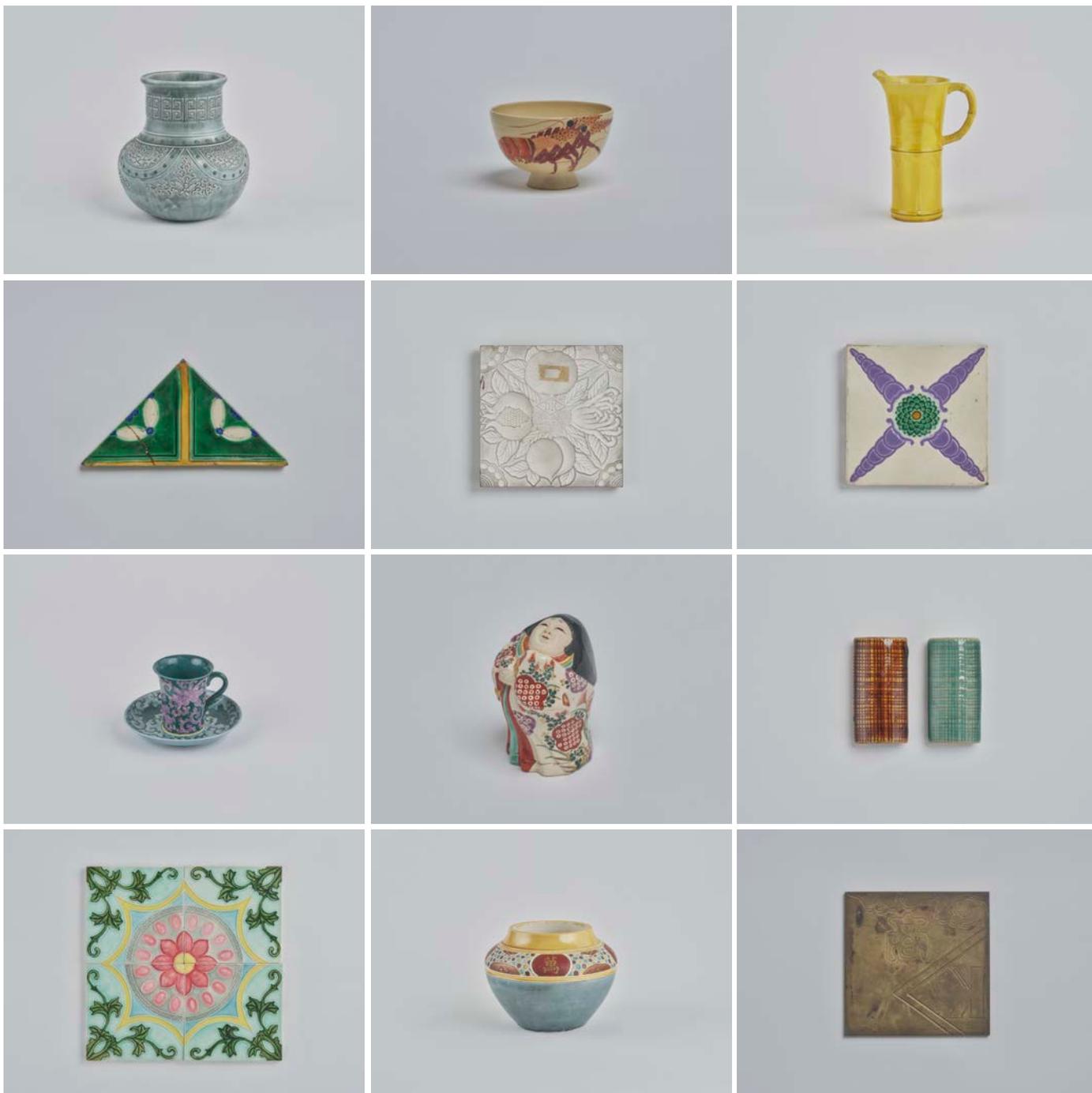
普遍的な土と伝統的技術、そして常に新たなものづくりに挑戦してきたフロンティア精神、そこにクリエイターたちの視点を加えることで、〈A.a. Danto〉は淡路島に新たな息吹をもたらしていきます。



ダントーの工場の風景

## 参考情報：ダントー（淡陶社）のアーカイブ

淡路島で1830年ごろから作られていた珉平焼にルーツを持ち、日本のタイル製造の先駆者であるダントーが探究している、タイル・焼き物等のデザイン・アーカイブ。土に対する研究と実験を重ね、早期から海外との交流を行うなど、オープンで革新的な文化が根付いた淡路島では、多様な色彩やユニークなパターンが生まれました。〈A.a. Danto〉のインスピレーションとして、過去と未来を繋ぐ重要な歴史的資料となっています。



## 参考情報：2024年ミラノデザインウィークでの展示風景



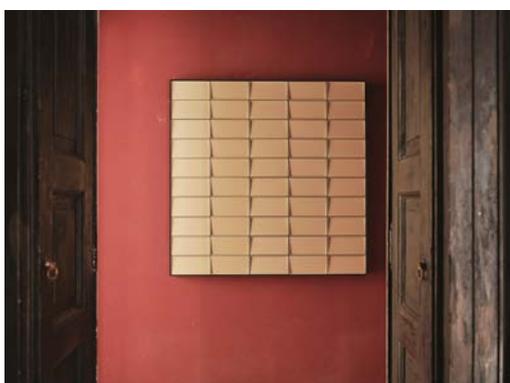
Tiles | Flat/gloss  
全てTeruhiro Yanagihara Studio



Tiles | Flat/matt、 Flat/gloss



Tiles | Flat/gloss



Tiles | Tray Type A  
全てTeruhiro Yanagihara Studio



Editions | Baked Furniture - Table



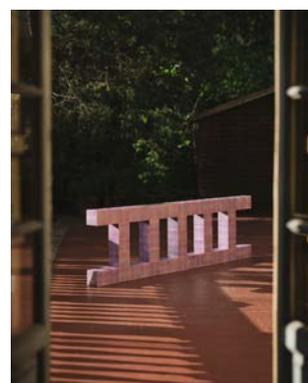
Tiles | Tray Type B



Editions | Ladder Tiles | Freckles  
全てIndia Mahdavi



Editions | Ladder Tiles | Mycelium, Freckles



Editions | Ladder、 Tiles | Crisscross

Photo : Felix Speller、 Mitsugu Uehara、 Ichiro Mishima

**Press Contact : HOW INC.**

MAIL : [pressrelease@how-pr.co.jp](mailto:pressrelease@how-pr.co.jp) TEL : 03-5414-6405

**お客様お問い合わせ先 : Alternative Aretifacts Danto**

Website <https://aa-danto.com/>

INSTAGRAM <https://www.instagram.com/a.a.danto/>

MAIL : [contact@aa-danto.com](mailto:contact@aa-danto.com)